

○指導・評価計画 【国語科 1 年】 (週 2 時間)

5 月 3 週 (1 1 日～)	5 月 4 週 (1 8 日～)	5 月 5 週 (2 5 日～)
<p>①「ノートをつくらう」(オリエンテーション1) 「ノートづくり」のポイント を学び、自分のノートをつくる。 * 大学ノートを 1 冊用意 * 国語教室通信 (1 ・ 2 号) 配付</p> <p>②「正しく声に出そう」(オリエンテーション2) (教科書 p. 14～15 「ふしぎ」、p. 214～ 217 「日本語の音声」他) 正しい発声の仕方を学び、自 分の創作した詩を朗読する。 * 国語教室通信 (3 号) 配付 * 「音読・暗唱 3 0 選」(記録表) 配付 (<u>印刷できない場合は各 自でノート等に形式自由で取 り組みを記録してください。</u>)</p>	<p>①「語彙を増やそう」(オリエンテーション3) (音と形で覚える漢字の演習、国語辞典) 漢字学習の進め方と辞書の引 き方を学び、語彙力を高める方 法を考える。 * 国語教室通信 (4 号) 配付 * <u>国語辞典(電子辞書可)がある 人は用意してください。</u></p> <p>②「読書尚友、本はモダチ」(オリエンテーション4) (読書ノート、今読んでいる本) 「読書」の意義について考え、 自分の読書生活に生かす。 * 国語教室通信 (5 号) 配付</p>	<p>①単元「日常を編む表現者たち」(1時間目) (教科書 表紙裏「言葉とは何か」、p. 20 ～27「音を追いかけて」他) 「音を追いかけて」を読んで、初 発の感想を書く。 * 国語教室通信 (6 号) 配付 * 単元計画表(「日常を編む表現 者たち」) 配付</p> <p>②単元「日常を編む表現者たち」(2時間目) (教科書 20 頁～「音を追いかけて」他) 表現や描写に着目しながら登 場人物の「心情の変化」について 考察する。 * 国語教室通信 (7 号) 配付</p>
<p>☆配付物が自宅で印刷できない人は、<u>データ上でご覧ください</u>。学校再開後に改めて配付します。</p>		
<p>①「座右の銘」、「思い出の国語授 業」、「リフレクション」をカー ドで提出。</p> <p>②「詩の創作作品」と「リフレク ション」をカードで提出。</p>	<p>①語彙を増やすための「私の取 り組み宣言」、「リフレクショ ン」をカードで提出。</p> <p>②「読書紹介」、「リフレクショ ン」をカードで提出。</p>	<p>①「言葉とは」、「初発の感想」、 「リフレクション」をカード で提出。</p> <p>②登場人物の心情の変化につい ての「自分の考え」、「リフレク ション」をカードで提出。</p>
<p>* 手書きのノートは後日、改めて点検します。それまでは各自で創意工夫を凝らした「ノートづくり」 を行ってください。大変ですがカードに入力した内容をノートにも記録しておきましょう 《 例 <u>ノート(下書き)</u> → <u>カード(清書)提出</u> → <u>カード返却後、ノートに加筆・修正</u> 》 * 提出したカードは「交流」するためロイロ上で「<u>クラス・学年に公開されること</u>」があります。</p>		
<p>①自分の学習の足跡を記録する ための「ノートづくり」につい て学び、国語学習の授業開き を行います。</p> <p>②詩とともに言葉に出会い、そ の言葉を声に出すことの意味 や喜びを知り、声の響く国語 教室をめざします。</p>	<p>①漢字練習や辞書引き学習によ って在宅でも語彙力を高める ための方法を学びます。</p> <p>②読書の意義を考え、「生涯読書 人」になるための読書生活を スタートさせます。</p>	<p>①物語文を読んで初発の感想を 書き、友達との感想交流をす ることで多様な視点で作品の 表現を読み味わいます。</p> <p>②表現や・描写に着目して作品 における登場人物の心情の変 化に着目するポイントを押さ えていきます。</p>
<p>☆何か不明な点がある場合は、「質問箱」でその都度、聞いてください。順番に回す「記録ノート」は学校 再開後に行います。今後、学習計画や提出の仕方等に変更があれば「ロイロノート」を使ってお知らせ します。色々と不便を掛けますがよろしくお願いします。</p>		

○指導・評価計画 【国語科１年】 （週２時間）

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅰ〕</p> <p>①オリエンテーション（家庭学習における留意事項の確認） ②普段、誰かの〈語り〉を聞く際に、どのようなことに気を付けながら聞いているのかについて、ロイロノートのカードに自由に書き出す。</p> <p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅱ〕</p> <p>③級友の考えをまとめた資料（後日提示）をもとに、各自の考えを俯瞰的に眺めながら、共通点や相違点をカードに整理する。</p>	<p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅲ〕</p> <p>①エリザベス英女王の国民向けテレビ演説をYouTubeで視聴し、気づいたことや考えたこと、疑問に思ったことなどをカードに自由に書き出す。</p> <p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅳ〕</p> <p>②級友の考えをまとめた資料（後日提示）をもとに、気になった考えなどをカードに書き出す。 ③エリザベス英女王の演説の工夫について、自分の考えを200字程度でカードにまとめる。</p>	<p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅴ〕</p> <p>①詳細は後日。課題の進捗状況に応じて調整を行います。</p> <p>単元「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅵ〕</p> <p>②人々の協調を実現するためのコミュニケーションにおいて心がけるべきことについて、自分の考えを300～500字程度でまとめる。 ③単元のふりかえりを行う。</p>
①②③ロイロノートのカードに記入し、提出。	左に同じ。	左に同じ。 別の方法の可能性もあり。
<p>②これまでの自分自身の考えを一度整理することが、新しく始まる学習の土台になります。 ③自分とは違う考えに接する機会が、物事をより広い視野から柔軟にとらえ直すきっかけになります。</p>	<p>①素朴な感性で抱いた考えから思考の営みは始まります。後に続く学習でさらに掘り下げていきましょう。 ②自分の考えだけでなく、他者の考えも取り入れながら整理することで、これまでになかった新しい考えを発見することにつながります。 ③エリザベス英女王の演説の工夫について自分の考えを整理することを通して、〈語り〉を聞く、あるいは自分自身が〈語る〉際に必要な視点を得ることを目指します。</p>	<p>①は後日。 ②普段の日常とは異なる環境において、これまで以上に人々の協調が求められています。その際に鍵となるのは、言葉によるコミュニケーションです。では、その言葉によるコミュニケーションを行う際には、どのような心がけが必要になるのでしょうか。このことについて考えることを通して、今後の自分自身の生き方の指針を得られるようにしましょう。</p>

○指導計画・評価計画 【1年社会科（地理）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>① 世界の略地図 ：大陸や州、それらの境界、赤道 （教科書12～13頁） 世界の大陸や大洋、州の名称や境界を確認しよう。各大陸のおよその形や大きさに気を付けながら略地図を描こう。</p> <p>（① 50分程度）</p>	<p>② 世界の略地図 ：アフリカ v. s. 南アメリカ （地図帳9～10頁） 略地図を描いていると何となく似てきてしまうアフリカ大陸と南アメリカ大陸とを描き分けるポイントを考えよう。</p> <p>③ 緯度と経度、世界の地名 （教科書5～11頁） 世界地図や地球儀上で、緯度や経度のしくみを理解しよう。地球上の緯度や経度が違う場所を比較すると、何が異なるのか考えよう。 （②と③で合計60～90分程度）</p>	<p>④ 世界50地名！ （地図帳1～3ページなど） 4月中の課題として取り組んでもらった「世界50地名」を、緯度や経度の位置情報と結び付けながら復習しよう。</p> <p>⑤ 「位置」の示し方 （ここまでの学習のまとめ） 「筑波大学附属中学校はどこですか？」と聞かれたら、どのように答えますか？ 地理の学習のなかで、それはどこにあるか？ （④と⑤で合計60～90分程度）</p>
<p>① 課題1（世界略地図）はノートに練習しておく。後々の授業で使えるようにしておくこと。課題2は最後の課題カードに記入して提出する。</p> <p>②</p>	<p>② カードで提出する。提出された「ポイント」は何人かの分を公表するので、みんなを確認しよう。</p> <p>③ カードで提出する。</p>	<p>④ ワークシート型の課題を提示します。各ワークの学習成果を何枚かのカードで提出してもらう予定です。</p> <p>⑤ カードで提出する。</p>
<p>① 世界の地理を学ぶ上で、大きな範囲を表す地名から狭い場所の地名まで、小さきまざまな地名を使いこなすことが大切です。 大きな範囲とは大陸や州、州の中の地域区分（東アジアなど）で、だんだん小さな区分にしていくと国、地方、県、都市のように網の目が小さくなっていきます。 この時間の学習は小学校の復習ですが、いままでバラバラに暗記していた地名を整理する意識で進めましょう。</p>	<p>② ①からの続きの学習です。これから授業の中で「ノートに世界略地図を描いて。描けたらイスラム教徒が多く住む地域を緑色で塗ろう」のように使いこなしていきたい。つまり「学習」に使えるぐらいのバランスのいい地図を、手早く書けるようになることがこの作業のポイントです。</p> <p>③ 地球上の位置を示すのに緯度と経度を使いこなせるようになるろう。世界地図上だとタテ線とヨコ線の「違い」は感じないけれど地球儀上では全然「違う！」ことが分かるだろう。</p>	<p>④ 「地名はいくつ暗記すればいいんですか？」と聞かれることがよくあります。まずは「世界50地名」を手がかりに、地球上のどの地域でも「〇〇の近くだな」ととらえられるようになるろう。</p> <p>⑤ これからの世界地理のなかで「今、どこについて」学習しているのか、が分かることはとても重要です。そして、「どこ？」という問いに対していろいろな角度から考えることができるようになるろうと、世界や日本のさまざまなきごとを多角的に考察することができるようになるでしょう。</p>

○指導計画・評価計画 【1年社会科（歴史）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①歴史学習オリエンテーション 教科書の記述や歴史の解釈について、考えを深める事を通して、小学校と中学校の歴史学習の違いを理解する。 （20分程度）</p> <p>②時代の移り変わりや時代区分 （教科書1～5頁） 日本の感染症や伝染病の歴史を年表にまとめたり、歴史的人物を位置づける作業を通して年代の表し方や時代区分を理解し、時代区分の存在意義を考察する。（20分程度）</p>	<p>③歴史の調べ方・まとめ・発表の仕方 （教科書6～11頁） 1940・1964・2020年東京オリンピック招致に関わった本校卒業生を例に調査・まとめ・発表の方法を知り、生徒個人で本校卒業生について調査し、まとめたことを発表する。 （50分程度）</p>	<p>④人類の進化 （教科書12～13頁） ヒトとしての条件を考察することを通して、集団生活や直立二足歩行・道具・火の使用について理解し、現在の私たちの現状と比較・考察する。（25分程度）</p> <p>⑤世界の古代文明 （教科書14～15頁） 法制度などを例として、世界の古代文明と同時代の日本の様子とを比較し、世界の古代文明の特徴に気づく。（25分程度）</p>
<p>①歴史のとらえ方についての考えを説明したカード等</p> <p>②時代区分の存在意義について考察したカード等</p>	<p>③調べた人物レポートの画像＋音声録音の提出</p>	<p>④未来におけるヒトの条件についての考察カード等</p> <p>⑤今の日本を幸せにするルールを考えたカード（2条以上）等</p>
<p>①歴史とはなにか、また歴史を学ぶことの意義について自分の考えを持ち、歴史学習に臨む準備をすることができます。</p> <p>②中学校での歴史学習に必要な年代の表し方や時代区分を使って、できごとや人物を歴史上に位置づけることができます。</p>	<p>③東京オリンピック開催に関わった卒業生の活躍について知ることができます。また、調査・まとめ・発表の手順について、自分で実践して身につけることができます。</p>	<p>④大昔の人類と今の自分たちの生活を比較することで、長い時間をかけて人類が発達していったことの意味の大きさに気づきます。</p> <p>⑤昔からルールが存在することを知り、身の回りのルールについて考え、法的な視点で自分なりの考えを持つことができます。</p>

○指導計画・評価計画【第1学年数学科 数学A 数学B】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【数A】</p> <p>①ア：オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要の説明 ・課題「算数」と「数学」の違い <p>イ：符号のついた数，数の大小 (教:p. 8-p. 16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の意味を理解する. ・正負の数を数直線で表したり，大小関係を，不等号を用いて表したりすることができる. <p>②③加法（教:p. 17-p. 21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプを用いて正負の数の加法の意味を理解し，加法の計算をすることができる. ・加法の計算を効率よく計算する方法について考える. <p>【数B】</p> <p>④図形の移動(1)（教:p. 140-p. 150）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の移動「平行移動」「回転移動(+点対称移動)」「対称移動」それぞれの観察により，その性質や図形間の関係を見出し図形の移動について考察する. 	<p>【数A】</p> <p>⑤⑥減法（教:p. 22-p. 24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の減法の意味を理解し，減法の計算をすることができる. <p>⑦加法と減法の混じった計算 (教:p. 25-p. 28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の加法と減法の混じった式を，項の和とみて計算をすることができる. ・パズルを用いて正負の数の加法と減法の計算をすることができる(1). <p>【数B】</p> <p>⑧図形の移動(2)（教:p. 140-p. 150）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「麻の葉」を用いて，含まれている図形の関係の観察により，「平行移動」「回転移動(+点対称移動)」「対称移動」の性質を見出し図形の移動について考察する. 	<p>【数A】</p> <p>⑨加法と減法の混じった計算 (教:p. 25～p. 28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パズルを用いて正負の数の加法と減法の計算をすることができる(2). <p>⑩学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返る. ・問題演習 <p>⑪乗法（教:p. 29～p. 34）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の乗法の意味を理解し，乗法の計算をすることができる. ・いくつかの数の乗法を効率よく計算する方法について考える. <p>【数B】</p> <p>⑫図形の移動(3)（教:p. 140-p. 150） 作図のしかた（教:p. 151-p. 152）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の移動(1)(2)の復習及び用語や記号の確認をする. ・「作図」の意味と定規・コンパスの使い方を知り，実際に用いる.
<p>【数A】カードで提出(締切 5/15) 【数B】カードで提出(締切 5/15) (詳細はそれぞれの授業の中で示します.)</p>	<p>【数A】カードで提出(締切 5/22) 【数B】カードで提出(締切 5/22) (詳細はそれぞれの授業の中で示します.)</p>	<p>【数A】カードで提出(締切 5/29) 【数B】カードで提出(締切 5/29) (詳細はそれぞれの授業の中で示します.)</p>
<p>【数A】 中学校では，負の数も数として扱うので，負の数の必要性や意味を理解し，小学校で学習した加減乗除を加法から順に捉え直していきます.</p> <p>【数B】 (1) 2つの図形の位置や形から，その関係を考察して，移動の特徴を見つけること，(2) 日常事象から，図形移動と関係づけて図形のパターンを直観的に見つけることを目的としています.</p>	<p>【数A】 正負の数の減法の意味について理解し，計算ができるようにした上で，加法，減法の混じった式の計算の学習につなげていきます.</p> <p>【数B】 (1) 図形のパターンを根拠に基づいて説明すること，(2) 図形移動と関連付けて伝統模様をより深く知ることを目的としています.</p>	<p>【数A】 これまでの学習のポイントを考える活動，問題演習を通して，正負の数の加法，減法について再確認し，乗法，除法の学習につなげていきます.</p> <p>【数B】 (1) 2つの図形の位置関係に関連した語句や記号を用いて，図形のパターンの特徴を説明すること，(2) コンパスと定規のみを用いて図形模様を自由につくることを目的としています.</p>

○指導・評価計画例 【第1学年 理科（生物），（物理）】

5月3週（11日～）生物	5月4週（18日～）生物	5月5週（25日～）物理
<p>①理科の学習を始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科という教科について ・学習の進め方，ノート書き方 <p>【25分程度】</p> <p>②分類とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に出した課題のレポートから，なかま分け（分類）について考える。 ・Active10「分類」（10分間）を視聴。 ・カードの説明に従って，自分の考えをまとめる。 <p>【25分程度】</p> <p>③花のつくり</p> <p>（教科書 p. 17～20 ㊦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の基本的なつくりをカードの説明に従ってノートにまとめる。 <p>【25分程度】</p>	<p>①花のつくりの観察<u>観察</u></p> <p>（教科書 p. 17～20 ㊦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習手順を示したカードを視聴し（動画 10分程度），身近な花を2つ以上観察する。 <p>【40分程度】</p> <p>②音による現象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音について思いつくことを書き出す。（5分間程度） ・Active10「音」（10分間）を視聴し，音に係る現象について不思議（課題）を見つける。 <p>【25分程度】</p> <p>③音が発生する仕組み</p> <p>（教科書 p. 196～197）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が振動によって発生することを確かめる方法を考える。 <p>【25分程度】</p>	<p>②花のつくりの観察のまとめ</p> <p>（教科書 p. 17～20 ㊦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが気づいた花のつくりの共通点と相違点を共有し，ノートにまとめる。 <p>【25分程度】</p> <p>③花の変化とはたらき<u>観察</u></p> <p>（教科書 p. 21～22 ㊦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイノート p. 3 に書き込み，花の変化とはたらきをノートにまとめる。 ・身のまわりの野菜や果物で，花のつくりの名残を見つける。 <p>【25分程度】</p> <p>③音が発生する仕組み(2)<u>実験</u></p> <p>（教科書 p. 196～197）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人が考えた方法を共有し，実践できるものを実践してみる。 ・説明カードをもとに，音が発生する仕組みをまとめる。 <p>【40分程度】</p>
<p>①②③</p> <p>指示されたについて部分についての結果や自分の考えをカードで提出。</p> <p>* ノートを登校再開後に提出</p>	<p>①②③</p> <p>指示されたについて部分についての結果や自分の考えをカードで提出。</p> <p>* ノートを登校再開後に提出</p>	<p>①②③</p> <p>指示されたについて部分についての結果や自分の考えをカードで提出。</p> <p>* ノートを登校再開後に提出</p>
<p>① 中学校の理科の学習を始めるにあたって，これからの学習の展望を持ちます。</p> <p>② 分類する時に大事にすることや生物を観察する意味を見いだして，理解します。</p> <p>③ 基本的な花のつくりをまとめ，理解します。</p>	<p>① 花の観察を行い，花のつくりを確認し，植物の観察方法を身に付けます。花ごとの共通点や相違点を見いだしていきます。</p> <p>② 音について自分がどんなことを知っているのか，思いつくのか明確にします。そして，音についての現象に興味を持ち，課題を見つけます。</p> <p>③ 課題に対して，仮説を立て，解決する方法（実験計画）を考えます。</p>	<p>① 他の人と観察結果を共有し，自分では気づかなかったことにも目を向け，理解を深めます</p> <p>② 花の変化とはたらきをまとめ，身近な野菜や果実で花の名残を探し，理解を深めます。</p> <p>③ 他の方の考えも参考にし，実験を行います。実験計画の立て方なども振り返り，探究の過程を学んでいきます。</p>

○指導計画・評価計画例 **【音楽科】** 1年音楽は 週1時間の実施

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
オリエンテーション 音楽の授業を受けるにあたって必要な準備をしていく。 [用意するもの] ・教科書1 ・ノート（12段5線譜、リングなどのない紙の表紙、一枚一枚切り取り線が無いものが好ましい） ・筆記用具	歌唱单元「桐陰会会歌」① 桐陰会会歌の授業シートを見て課題を進める。 リコーダー单元① リコーダー单元の授業シートを見て、課題を進める。 [用意するもの] ・生徒手帳 ・ソプラノリコーダー ・ノート ・筆記用具	歌唱单元「桐陰会会歌」② 桐陰会会歌の練習を引き続きおこなうこと。 リコーダー单元② リコーダー单元の授業シート②を見て、課題を進める。 [用意するもの] ・生徒手帳 ・ソプラノリコーダー ・ノート ・筆記用具
①ロイロノートの資料箱内の「音楽オリエンテーション」を見ながらノートにまとめる。 ②ロイロノートの提出先音楽①に課題を提出する。 ＊評価：きちんと理解し、まとめられているか。	①ロイロノートの資料箱内の「桐陰会会歌」「リコーダー单元①」の授業シートを見ながら課題をノートにまとめる。 ＊評価：次の登校日にノートを提出する。 ②ロイロノートの提出先音楽②に課題を提出する。（桐陰会会歌の課題とリコーダー单元①の課題のシートを線で繋げて2つのシートを提出先に出すこと。）	①ロイロノートの資料箱内の「リコーダー单元②」の授業シートを見ながら課題をノートにまとめる。 ＊評価：次の登校日にノートを提出する。 ②ロイロノートの提出先音楽③に課題を提出する。
・これからの3年間の音楽の授業の元となる重要な決まり事なのでしっかりと理解し、ノートにまとめておくこと。	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に想いを馳せてみよう。	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に想いを馳せてみよう。 ・楽器について深く知り、音色や響きを感じる。

○指導・評価計画例 【美術・1年生】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>色の性質を学ぼう （教科書 55～56 頁）</p> <p>教科書とロイロノート上の資料を元に「色の三要素・補色・三原色の混色」を理解する。</p> <p>絵画作品や工業製品を参考に、色の効果がどのように使われているかを学ぶ。（※キーになる色とその効果等をカードに書き出す。）</p> <p>※導入の前に、教科担任の簡単な自己紹介をする。</p>	<p>配色による効果を学ぼう （教科書 56～57 頁）</p> <p>教科書とロイロノート上の資料を元に「色の対比・色の感じ・色の膨張、収縮、進出、後退・色の視認性を理解する。</p> <p>絵画作品を中心に参考作品を鑑賞しながら、その中で色の効果がどのように使われているかを学ぶ。（※キーになる色とその効果等をカードに書き出す。）</p>	<p>身近な色の効果について考えよう</p> <p>ロイロノート上に挙げられた画像の中から選択し、下記の3点に注目してカードに記述する。</p> <p>① 使用されている色の効果とキーとなる配色。</p> <p>② その効果を自分は視覚的にどう感じたか？</p> <p>③ 効果を促進させるために、他にどういった工夫が作品内には施されていると思うか？もしくは新たな視点で部分的にリメイクできそうなポイントはないか？</p>
<p>カード提出 （締め切り 5月17日）</p>	<p>カード提出 （締め切り 5月24日）</p>	<p>カード提出 （締め切り 5月31日）</p>
<p>色の性質を知識として理解することで、上記の視点を養うことができる。</p>	<p>色の性質と配色の効果を知識として理解することで、上記の視点を養うことができる。</p>	<p>色の性質と配色の効果を的確に捉えることをきっかけに、作者の表現の意図と工夫を発見し考察する能力を身に着けることができる。</p>

○指導計画・評価計画 【保健体育科：3学年共通】

授業担当：1年生 2年生 3年生

※運動確認シートはホームページよりダウンロードし、印刷して3週間使用する。提出は再開後。

※課題の詳細や動画の視聴方法については、ロイロノートにて送付する予定である。ロイロノート上にある解説も参考にして進めるとよい。

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>■体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の動きを高める運動の実践を通して、自分の心身の状態を確かめる。 ・体の柔らかさや、巧みな動きを組み合わせた運動を行い、それらを繰り返し行うことで、体の動きを高めたり、動きを持続する能力を高めたりする。 <p>①桐陰会歌体操について、それぞれの興味・関心にあわせ、適切な速度を選択し、映像を見ながら繰り返し行う。</p> <p>②運動確認シートを用いて、毎日の運動の記録を行う。</p>	<p>■体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された複数の運動（トレーニング）のねらいや正しい行い方を知り、きちんと理解して実践する。 ・運動後の振り返りから、自分の苦手な部分、高めたい部分を見つける。 <p>（①の体操を継続して行う。）</p> <p>③複数提示された運動課題の中から、自分に適するものを選び、継続して取り組む。</p> <p>④毎日の運動記録を継続して行う。</p>	<p>■体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の体力やねらいに合わせて運動を選択し、その上で、運動の負荷や頻度を調整し、運動の計画を立てた上で実践する。 <p>（①の体操を継続して行う。）</p> <p>⑤前週に実施した運動内容を振り返り、自分の状態にあわせた運動内容に調整し、引き続き実践を続ける。</p> <p>⑥毎日の運動記録を継続して行う。</p> <p>⑦3週間、自分が行った内容を振り返り、実施しての成果及び課題などをまとめる。</p>
<p>①1週間で3日以上繰り返して実践した後、実施回数と選んだ速さ及び感想をロイロノートのカードにて提出。</p>	<p>②自分が選んだプログラムとその実施回数及び、実施した後の成果と課題などについてまとめ、ロイロノートのカードにて提出。</p>	<p>③前週と内容を変更した点について、実施した成果と課題を書き加えた上でまとめ、ロイロノートのカードにて提出。</p>
<p>①リズムカルに体の各部位を曲げ伸ばしたり、捻ったりすることで、身体感覚を取り戻すとともに、関節の可動域を広げることができる。また、繰り返し行うことで、心肺機能に刺激を与え、持久力が高まる。</p> <p>②シートに心拍数を記録し、自身の身体状況の把握ができるようにする。</p>	<p>③自己の身体状況や筋力等に応じた運動内容を選択するための思考力・判断力を培う。また、それぞれの体力要素を学校再開に向けて高めていく。</p> <p>④毎日の記録を通して、実施前後の身体状況を客観的に把握する力をつけるとともに、安定して心拍数の記録ができるようにする。</p>	<p>⑤前週と比較し、体力を客観的に分析する力を培い、現状に応じて運動内容を適切に調整する力を育む。</p> <p>⑥長期的な取り組みから、体力・運動感覚の向上について、客観的に把握できるようにし、学校再開後の授業に備える。</p> <p>⑦3週間の取り組みを振り返り、その成果や課題などについてまとめる力をつける。</p>

■全学年を通して、体操から徐々に運動強度を上げていく取り組みを通して、身体を運動刺激に対して慣れさせていくことを目的にしつつ、それぞれの学年に応じた中心的な課題は以下のとおりである。

- ・1年生は、まず、基本の体操を覚え、正しく行いながら、身体に適切な運動刺激を与える。
- ・2年生は、1年時に培った体力を回復すべく、身体各部位に刺激を与え、適切な負荷をかける。
- ・3年生はトレ単で学んだことを生かし、自らの体力に応じた負荷をかけ、さらに体力が高まる運動を行うようにする。

○第1学年指導計画・評価計画例 **【技術家庭科 技術分野 1年】**

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①情報と私たちの生活 （教科 176～179 頁）</p> <p>技術科の学習計画についてのガイダンス。前期の目標など提示。身の回りに使われている情報機器のしくみを理解する。</p>	<p>①情報通信ネットワークの利用 （教科書 180～185 頁）</p> <p>情報通信ネットワークの構成についてそのしくみを理解</p>	<p>①情報通信ネットワークの利用 （教科書 180～185 頁）</p> <p>情報通信ネットワークの構成についてそのしくみを理解</p>
<p>①ロイロノートによって教材説明を行い提出箱にカードを提出する。</p> <p>＊身の回りの情報機器のしくみについて関心をもってたかを自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p> <p>（50 分程度）</p>	<p>①ロイロノートによって教材説明を行い提出箱にカードを提出する。</p> <p>＊情報通信ネットワークのしくみについて関心を持って自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p> <p>（50 分程度）</p>	<p>①ロイロノートによって教材説明を行い提出箱にカードを提出する。</p> <p>＊情報通信ネットワークのしくみについて関心を持って自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p> <p>（50 分程度）</p>
<p>①日頃当たり前のように使われている情報通信機器や通信のしくみを理解することで、視野が広がり、関心を持てることができる。</p>	<p>①情報通信ネットワークで情報を伝えるしくみを理解することで、視野が広がり、関心を持てることができる。</p>	<p>①情報通信ネットワークで情報を伝えるしくみを理解することで、その危険性について知ること、安全な利用について考えることができる。</p>

○指導・評価計画例 【技術・家庭 家庭分野 1年】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>〈中学校の家庭科で学ぶこと〉 （教科書全ページ）</p> <p>家庭科は「生きること」について学ぶ教科。世界に一つしかない、自分自身の命を大切にしてい、人間の成長や日々の生活、将来の人生について考える。教科書全ページを見渡して、3年間の学習を見通す。 （50分程度）</p>	<p>〈家庭の仕事を支える社会〉 （教科書14～17頁）</p> <p>家庭生活を支える仕事は、どのようなところで、どのように行われているだろうか。教科書14, 15ページの「1 家庭のはたらき」を読みながら、自分の生活に当てはめ、教科書16ページの4図とともに考えてみよう。 （50分程度）</p>	<p>〈私たちの家庭生活と地域〉 （教科書18～19頁）</p> <p>自分が住んでいる地域の人々とのつながりは、家族や個人にとってとても大切なものである。地域の人と協力して活動したり、助け合う場面を想像したりしてみる。 （50分程度）</p>
<p>プリントNo.1の①～⑤についてよく考え、思い出しながら書いてみる。</p> <p>プリントNo.2の「自立度チェック」を試みる。</p> <p>プリント合計2枚は各自A4サイズで印刷し、提出指示があるまで保管しておく。</p>	<p>教科書をよく読み、プリントNo.3に取り組む。</p> <p>プリントは各自A4サイズで印刷し、提出指示があるまで保管しておく。</p>	<p>教科書をよく読み、プリントNo.4に取り組む。</p> <p>（②のインタビューに関しては、祖父母に電話で聞いてもよい。該当者がいない場合は、なるべく年配の方に協力をしていただく。）</p> <p>プリントは各自A4サイズで印刷し、提出指示があるまで保管しておく。</p>
<p>これから、技術・家庭科の「家庭分野」を学びます。教科書を見渡すことで、3年間の学習内容を見通します。</p> <p>小学校での学びを振り返り、自分の自立度をチェックし、改善点を見つけられるようになります。</p>	<p>自分や家族の生活は家庭内外での活動に支えられていることに気づけるようになります。</p>	<p>中学生は地域とのつながりが薄い場面が多いですが、自分が育った地域の環境は大人になってから懐かしい思い出になり、自分の成長に影響を与えていることに気づけるようになります。震災が起きたときはなおさらです。家庭生活と地域との関わりについて理解できるようになります。</p>

○指導・評価計画 【英語科（1年）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
【学習内容】 ①入門期 01 ・教員紹介 ・英語学習の目的 ・英語学習の方法 ・表現の学習（挨拶） ・語いの学習（数字 1-20） ・文字の学習（大文字の名前） ②入門期 02 ・表現の学習（これは私の～です） ・語いの学習（数字 21-100） ・文字の学習（小文字の名前） ③入門期 03 ・表現の学習（あなたの～ですか） ・語いの学習（数字：電話番号） ・文字の学習（文字の歴史）	【学習内容】 ①入門期 04 ・表現の学習（これは…の～ですか） ・語いの学習（数字：計算） ・文字の学習（大文字を書く） ②入門期 05 ・表現の学習（これは～です） ・語いの学習（部屋・文具） ・文字の学習（小文字を書く） ③入門期 06 ・表現の学習（これは～ですか） ・語いの学習（動物） ・文字の学習（文字の音(1)）	【学習内容】 ① 入門期 07 ・表現の学習（彼は／彼女は～です） ・語いの学習（家族や親類） ・文字の学習（文字の音(2)） ② 入門期 08 ・表現の学習（こちらは誰ですか） ・語いの学習（教室） ・文字の学習（文字の音(3)） ③ 入門期 09 ・表現の学習（～は…ですか） ・語いの学習（スポーツ） ・文字の学習（文字の音(4)）
【課題・提出物】 ①②③共通 ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ③のみ ・授業内で指示される「文字の歴史」に関する自分の考えをテキストカードで提出 ※提出箱はどれも 5/15 締め切り	【課題・提出物】 ①②③共通 ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ①②のみ（印刷環境が整えば実施） ・大文字、小文字各 26 文字を、印刷した専用用紙に書いて提出 ※詳しくは授業の中で ※提出箱はどれも 5/22 締め切り	【課題・提出物】 ①②③共通 ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ③のみ（録音環境が整えば実施） ・アルファベット 26 文字の音を録音して、カードで提出 ※詳しくは授業の中で説明 ※提出箱はどれも 5/29 締め切り
【授業のねらいや目標】 ①のみ ・英語を学習する目的や学習方法を理解し、主体的に学習する姿勢を身に付ける。 ①②③共通 ・基本的な英文の意味や形を理解し、正しく言うことができる。 ・発音やリズムに注意しながら単語を言うことができる。 ・文字を認識し、その歴史を理解することができる。	【授業のねらいや目標】 ①②③共通 ・基本的な英文の意味や形を理解し、正しく言うことができる。 ・発音やリズムに注意しながら単語を言うことができる。 ・文字を認識し、正しく書くことができる。 ・文字には音があることを理解し、正しく発音できる。	【授業のねらいや目標】 ①②③共通 ・基本的な英文の意味や形を理解し、正しく言うことができる。 ・発音やリズムに注意しながら単語を言うことができる。 ・文字には音があることを理解し、正しく発音できる。

※授業のスライド（音声付き）やビデオおよび授業や復習で使うハンドアウトは、すべて各週の初めに「資料箱」⇒「1年〇組専用のフォルダ」の中に入れておきます。

○指導・評価計画 【1年総合学習】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>＊総合学習は、3週間のどの時期に行ってもかまいません。提出課題があるのは、③のみです。</p> <p>① 総合学習オリエンテーション（15分程度）</p> <p>総合学習のねらい、心構え、「情報リテラシー学習」の意味と意義を、カードに書かれた解説をもとに理解しましょう。</p> <p>読み物資料①『生命体と人間の「強さ」とは何か?』は、興味があれば読んでみて下さい。少々難しい言葉が登場しますが、筆者である福岡伸一氏はわかりやすい例を使って説明してくれています。世の中の見方が少し変わるかもしれません。</p> <p>② 探究学習(個人研究)を行うための心構えやコツ（20分程度）</p> <p>教科の学習にも参考になる「課題設定のコツ」「情報収集でチャレンジしたいこと」「情報を整理・分析するときのポイント」「まとめ・発表のときの心構え」を知っておきましょう。</p> <p>自分が自然に心がけてきたこと、実践してきたことがあるかどうか、確かめてみよう。</p> <p>また、今後、特にどのようなコツを自分なりに活用していきたいかも考えておこう。</p> <p>③ 探究学習(個人研究)の課題をつくってみよう！（5月18日以降に取り組もう）（50分程度）</p> <p>②の「課題設定のコツ」を踏まえて、使える人はロイロノートのシンキングツールも活用し、探究テーマを考えて提出しよう。</p> <p>説明のカードには、2年生が昨年度探究した個人テーマのいくつかを紹介しておきます。</p> <p>どんどん調べていってもかまいませんが、慌てる必要はありません。</p> <p>6月以降に調査（アンケートやインタビュー、文献など）の方法、正しい引用のあり方、著作権、新聞の活用方法、レポートの書き方などを学習しながら探究も進めていってもらいます。</p>		
<p>①、②については、提出する課題はありません。</p> <p>③のテーマを提出する生徒は、5月18日以降でお願いします。</p>	<p>③個人で決めた探究テーマを書いた（シンキングツールでまとめた）カードを提出して下さい。提出後に変更したい人は、カードを再提出すると、前に出したカードは消えます。提出された探究カードは、他の人のテーマが参考にできるように、ある程度の数が集まった時点で、公開（共有）の設定に変更します。</p>	
<p>小学校のときも、「総合的な学習の時間」に皆さんは取り組んできたことと思います。追究した課題は人それぞれかと思いますが、本校の総合学習では、「情報リテラシー」に関する正しい知識をもとに、より中学生らしい「探究的な学び」ができるようになっていきます。「深く考えるって、こういうことか」「新しいものを創造するには、こういう考え方が必要なのか」などという気づきを感じ、「勉強のための勉強」ではない、「真の学び」を進めていく意欲を伸ばすことができます。</p> <p>②の「探究学習を行うためのコツ」は、教科の学習を進めていく上でも役に立つはずです。新しい課題をどんどん見つけていきましょう！</p>		

○指導・評価計画【第1学年HRH】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【1週間のスケジュールをスコラ手帳にかきこもう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付したスコラ手帳に1週間の学習スケジュールを記入しましょう。その際<u>予定起床時間</u>と<u>予定就寝時間</u>も記入してください。 ・1日の終わりには、その予定と実際がどう違ったかがわかるように書き込んでいきましょう。 <p>【自己紹介をしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのクラスHRHのページに自己紹介の課題提出先があります。そこに自己紹介を書いていきましょう。（ロイロに載せる際のルールをよく確認した上で作成しましょう。） <p>【中学生になって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この様な状況の中ですが今週から本格的に遠隔での課題や授業が始まります。中学生になってどの様な気持ちか、またどの様な中学校生活を送っていきたいかを動画にとって担任に提出しましょう。 	<p>【1週間のスケジュールをスコラ手帳にかきこもう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付したスコラ手帳に1週間の学習スケジュールを記入しましょう。その際<u>予定起床時間</u>と<u>予定就寝時間</u>も記入してください。 ・1日の終わりには、その予定と実際がどう違ったかがわかるように書き込んでいきましょう。 <p>【個人目標を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのクラスHRHのページに個人目標の課題提出先があります。そこに一年間の個人目標を書いていきましょう。一年間の自身の支えとなるような大切な一言です。 	<p>【1週間のスケジュールをスコラ手帳にかきこもう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付したスコラ手帳に1週間の学習スケジュールを記入しましょう。その際<u>予定起床時間</u>と<u>予定就寝時間</u>も記入してください。 ・1日の終わりには、その予定と実際がどう違ったかがわかるように書き込んでいきましょう。 <p>【クラス目標に入りたい言葉をあげてみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス目標を決めて行く上でどんなワードを入れたいかを考えてみましょう。今回で決まるわけでは無いのでどんどんあげてみましょう。
<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入した「予定」を画像・もしくはシートに転記して各クラスの「HRH」の「学習計画（手帳）」という提出箱に提出してください。 ・「実際にどう過ごしたか」の記入が加わったものを、予定画像もしくは予定シートと繋げて週の終わりに再提出しましょう。 ・記入した「自己紹介シート」は各クラスの「HRH」の「自己紹介」という提出箱に週の終わりまでに提出してください。 	<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入した「予定」を画像・もしくはシートに転記して各クラスの「HRH」の「学習計画（手帳）②」という提出箱に提出してください。 ・「実際にどう過ごしたか」の記入が加わったものを、予定画像もしくは予定シートと繋げて週の終わりに再提出しましょう。 ※1、2週目のものと混ざってしまわないように写真やシートを管理しましょう ・記入した「個人目標シート」は 	<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入した「予定」を画像・もしくはシートに転記して各クラスの「HRH」の「学習計画（手帳）③」という提出箱に提出してください。 ・「実際にどう過ごしたか」の記入が加わったものを、予定画像もしくは予定シートと繋げて週の終わりに再提出しましょう。 ※1、2週目のものと混ざってしまわないように写真やシートを管理しましょう。 ・記入した「クラス目標に入れた

<p>シートには文字で記入した上に音声でも自己紹介してみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中学生になって」の動画は各クラスの「HRH」の「中学生になって（非公開）」という提出箱に提出してください。時間は30 秒程度でお願いします。 	<p>各クラスの「HRH」の「個人目標」という提出箱に週の終わりにまでに提出してください。</p>	<p>いワード」シートを週の終わりにまでに各クラスの「HRH」の「クラス目標にむけて」という提出箱に提出してください。</p>
<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で学習計画を立てること、生活リズムを整えることが大切です。1 週間の予定を立てて、見通しをもって生活しましょう。 ・これからクラスとしては 1 年間、学年としては 3 年間一緒に過ごす皆さんに自分のことを知ってもらい、みんなのことを知しましょう。それと同時に音声提出の試行を行います。 ・中学生になりどのようなことを感じているのかを改めて考えることにより、これからの中学校生活をどのようなものにしていきたいのかを考える準備としましょう。それと同時に動画提出の試行を行います。 	<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で学習計画を立てること、生活リズムを整えることが大切です。1 週間の予定を立てて、見通しをもって生活しましょう。 ・個人目標は教室の後ろに短冊で一年間飾られるものです。一年間の抱負をどのようなものにするか、よく考えて書き上げましょう。 	<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で学習計画を立てること、生活リズムを整えることが大切です。1 週間の予定を立てて、見通しをもって生活しましょう。 ・クラス目標は時間が経ってもみんなで初心に戻れる、そんな大切な目標です。どのようなクラスにしたいか、クラスとしての一年間の抱負を考える上でどんなワードを入れたいか考えてみましょう。
<p>道徳との関わり</p> <p>A1 自律、B9 相互理解、C15 集団</p>		